

セキュアアクセスエンドポイントポスチャプロファイルオペレーティングシステムのバージョンチェック動作

内容

お問い合わせ内容

Cisco Secure Access for Remote Access VPN(RAVPN)をエンドポイントポスチャプロファイルを使用して設定すると、オペレーティングシステムのポスチャ設定で、使用可能なチェックボックスに新しいWindows 11バージョンが表示されない場合があります。特に、OSバージョンチェックで表示されるオプションはWindows 11 24H2までですが、Windows 11 25H2などの新しいバージョンは、ポスチャプロファイル設定インターフェイスで個々のチェックボックスとして明示的にリストされません。

これにより、VPN接続の試行時に、チェックされていないOSバージョンを実行しているエンドポイントがどのように動作するかに関する不確実性が生じます。特に、ポスチャプロファイル設定で明示的にチェックボックスが選択されていないにもかかわらず、Windows 11 25H2エンドポイントが正常にVPN接続を確立することが確認された場合には、この不確実性が生じます。

問題の設定領域は、Secure > Endpoint Posture Profiles > VPN Connection > Operating Systemにあります。

環境

- ・ リモートアクセスVPN(RAVPN)用に設定されたCisco Secure Accessプラットフォーム
- ・ オペレーティングシステムのバージョンチェックで設定されたエンドポイントポスチャプロファイル
- ・ 25H2を含むさまざまなバージョンを実行するWindows 11エンドポイント
- ・ Windows 11 24H2で終了する使用可能なチェックボックスを示すポスチャプロファイルOSの設定

解決策

明示的なチェックボックスがないにもかかわらず、Windows 11 25H2エンドポイントが正常に接続されるとわかった動作は、Endpoint Posture Profilesオペレーティングシステム設定のLatest選択メカニズムによるものです。

OSバージョンの照合動作の理解

エンドポイントのオペレーティングシステムのバージョンが、ポスチャプロファイルの個々のバージョンチェックボックスのいずれによっても明示的に一致しない場合、予期されるデフォルトの動作では、通常、VPNの接続試行中に認証エラーが発生します。ただし、ポスチャプロファイルシステムには、個々のチェックボックスとして明示的にリストされているOSリリースよりも新しいOSリリースを含む「最新」オプションがあります。

含まれるOSバージョンの確認

Latestの選択に含まれているオペレーティングシステムのバージョンを確認するには、次のコマンドを使用します。

ステップ1：ポスチャプロファイル設定に移動します。Secure > Endpoint Posture Profiles > VPN Connection > Operating Systemにアクセスします。

ステップ2:最新のオプション情報を確認します。Latest選択の横にある情報ツールチップ(i)アイコンを探すと、このカテゴリに含まれる特定のOSリリースが表示されます。

チェックされていないOSバージョンの想定される動作

個別のチェックボックスまたは最新の選択のいずれによってもカバーされないオペレーティングシステムバージョンには、システムがポスチャ要件を適用し、VPN接続を防止します。このような場合、ポスチャチェック要件が満たされないため、VPN接続プロセス中にエンドポイントで認証エラーが発生します。

原因

使用可能な個々のOSバージョンのチェックボックスと、新しいOSバージョンからの正常な接続が明らかに一致していません。これは、Cisco Secure Accessが、新しいオペレーティングシステムリリースを自動的に含む最新選択メカニズムを使用しているためです。Windows 11 25H2はLatestカテゴリに含まれており、設定インターフェイスで個々のチェックボックスオプションとして明示的にリストされていない場合でも、これらのエンドポイントがポスチャ要件を満たすことができます。この設計により、ポスチャシステムは、ユーザインターフェイスの個々のチェックボックスリストを即座に更新することなく、新しいOSリリースに対応できます。

関連コンテンツ

- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。